

2017年キッズ・レインボー 放課後等デイサービス自己評価

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			洋室、和室、があり、個別対応は事務室で実施。定員数がプログラムを行うには十分なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童指導員、保育士、心理士、元教員がチームになり、適切な人数配置のもと療育にあたっている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			平屋建てで概ねフラットですが、玄関に段差があり、コーナークッション、マット、たたみなどで保護している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			辛い職員数が少ないので、朝礼、終了後の打ち合わせなどで業務改善を図っている。大きな課題については、職員会議で協議し実行に移す。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者会、家庭訪問などにより、意向を把握し迅速な改善に努めている。今後は、アンケートの活用をする予定。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			NPO法人門真市手をつなぐ育成会ホームページに公開する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		大阪府障がい児通所支援事業者育成事業の研修会と機関支援を受け、業務改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			一般の研修講座の他、大阪府や門真市の研修講座などに順次参加し、研修の機会を設けている。所内の伝達講習にも努めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			S-M社会生活能力検査、人物画、遠城寺式などでチェックすると共に、利用者の主治医等からの情報と日々の行動観察記録を活用し、保護者との面談を実施し個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		上記に同じ。発達障がい、特に自閉スペクトラム症の行動上の課題については、隔月に専門家の支援を受け、職員の資質向上を図っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムについては、利用者の支援計画と展開・役割分担をスタッフ全員で共有し、行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			屋外活動、おもちゃライブラリー、エアロビ、調理実習など多様なプログラムの実践に努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			月の行事予定を決め、ラクタブドーム、アミティ舞洲の利用、公共交通機関での遠出、外食支援、などに、実地経験を深めるように配慮し、平日は、日替わりで設定ゲームを実施している。

供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本的に設定療育は集団活動として位置づけ、自由遊びや宿題等では個別活動として、個別と集団を柔軟に組み合わせている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日の送迎配車と担当者、支援プログラム、役割と配慮店など、安全・安心を旨として報告・連絡・相談により意思疎通を図っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後は、内容を中心に振り返り、併せて翌日の朝礼で再確認している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			家庭向けの「サービス提供記録票」とともに、支援員共同での業務記録を活用している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別に定期的に実施し、必要に応じて6か月以内でも柔軟に対応している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインを参考に支援の組み合わせにより変化をつけるようにし、支援をしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者と複数で参加し、会議の記録や資料を報告及び供覧により共通理解を図っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			各小中学校及び支援学校との情報交換と連絡調整には最大限の注意を払っているが、ご家庭の協力も仰いでいる。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	現状では該当者はなし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			門真市の関係機関との連携は、理事長が各種委員会等の委員として参画しており極めて密接である。他市については、情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	現在、利用者最高学年が中学3年生のため、該当者は無かったが、今後、要望があれば、いつでも提供できる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			大阪府障がい児通所支援事業所育成事業、機関支援や門真市児童発達通所支援事業所連絡会と連携、助言研修をうけている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			法人本部の行事小学校との交流、市民プラザでのおもちゃライブラリーなどの機会を活用している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			理事長が代表して積極的に参画しているので、意見反映と情報収集の機会は十分ある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日常的に情報共有すると共に、保護者のつどいを概ね2か月毎に実施し、理解を深めている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレント・トレーニング、ファシリテーター資格のある管理者を中心に支援している。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約当初に詳しく説明すると共に、状況の変化に応じて必要な説明等を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			障がい児を育てている親の会の事業であり、いつでもピアカウンセリング的な相談支援の行えることが特色である。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者同士の連携・協力関係を最も大切にしている。保護者会だけでなく親の会との連携参加もすすめている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			どんな小さなけがやトラブルも連絡帳や電話などで説明すると共に、大きな課題については個別に苦情を聞いて解決策を見出す努力を積み重ねている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			機関誌「にじいろだより」、ホームページ等と共に、大阪府育成会事業などの紹介により「合理的配慮」の普及に協力している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			大阪府個人情報保護条例等に則り、配慮している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特に「視覚支援」や「ユニバーサル・デザイン」などに配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			育成会(親の会)を通じて、地域住民との連携を図っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急対応マニュアルを策定し、防災・防犯、発作、誤嚥などの救急蘇生法についてマニュアル化して周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		警察の協力を得て防犯と交通ルールを実施した。秋には防災を実施予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			大阪手をつなぐ育成会(上部団体の研修受講と伝達講習を実施する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束は行わないことを徹底している。(送迎車内のシートベルトは完全にできている)。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			一人(果物アレルギー)について、家庭の協力も得て、実施している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内で教諭すると共に、保護者会で報告している。